

わたしの蔵出し日記

市民リポーターが半田市の魅力を紹介

2019年度市民リポーター
田代涼子さん

ふるさと半田応援団のメンバー。
言葉工房トム代表。

第1子が6か月の時に半田市に引っ越し、今年で12年目。
小学生2人の母。散歩とカフェが大好き。半田市在住。



第4回 ひよっこママに半田はあたたかいまちでした

今回で私のレポートも最後。長男が6か月の時に半田市に引っ越してきてから12年を、子育てママの目線で振り返ってみたいと思います。今、子育て真っ最中で大変なママさんに、何か少しでも参考になればうれしいです。

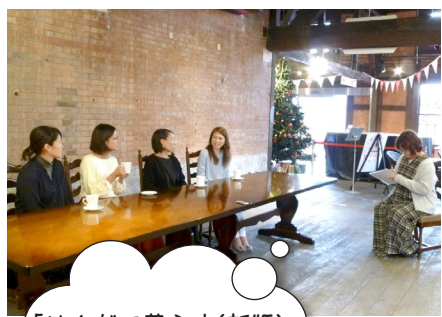
子どもがいたから広がった世界

それまで何の縁もなく、友達もいなかった半田市。引っ越してきて一番はじめに心の拠り所となったのは「はんだっこ」でした。子どもを連れて出かければ、同じようなママさんとお話ができて、スタッフの方に小さな相談ごとでもできました。

やがて出かけるのに慣れてくると、市の情報紙「はんだっこ0123」を見ては、今日は児童センター、今日は保育園の一般開放と出かけました。子どもを通して、自分の世界も広がっていききました。

半田市の乳児教室で一緒になったママ達と、母になって初めてのランチ会にも挑戦。0歳児だらけでわちゃわちゃと大変でしたが、楽しくいい思い出に。今でもいい関係が続いています。

はんだっこで
歩く練習を
していた頃



「はんだで暮らす(新版)」
座談会の様子

市内で十分楽しめる、子どもとの時間

先日、半田市の冊子「はんだで暮らす(新版)」の企画で、半田市のママたちの座談会に参加してきました。そこで皆が口をそろえたのが「遠くまで出かけなくても、市内に楽しいことがいっぱいある」ということ。

南吉記念館できつねさんを探したり、半田運河で鯉のぼりを見たり、運動公園で走り回ったり、科学館でプラネタリウムを楽しんだり……。

時には病後児保育やファミリーサポートの方にも助けをいただきながら、てんやわんやの日常は、過ぎてみればあっという間でした。半田市で子育てができて良かったなと、12年過ぎた今、思っています(子育てはまだ続きますが…笑)。



半田市での暮らしの魅力が詰まった冊子「はんだで暮らす(新版)」は図書館、児童館などで配布中です

みなさんの(声)を聞かせてください アンケート

Q1 今号でよかった内容や写真があれば教えてください。

Q2 今号を読んだことがきっかけで行動したこと、または、したいことはありましたか。

Q3 市報で取り上げてほしい内容や企画、広報に関するご意見・ご感想などありましたらお聞かせください。

回答方法

住所、氏名、年齢、アンケートを書いて、ご送付ください。

あて先

〒475-8666
東洋町2-1 企画課
Eメール
kouhou@city.handa.lg.jp



3月3日は、ひな祭りです。ひな祭りには、ちらし寿司や甘酒などでお祝いする習慣がありますね。
ちなみに、甘酒は「飲む点滴」と言われるほど栄養価が豊富です。肌の健康維持に効果のあるビタミンB2や、ブドウ糖、葉酸、アルギニン、必須アミノ酸、ビタミンB1、B6などが豊富に含まれています。
3月は季節の変わり目で風邪をひきやすい時期ですので、甘酒で栄養を取って、元気に過ごしましょう。
(浅野)

編集後記